

一般財団法人 計量計画研究所(IFS)

『第 18 回 MM(モビリティ・マネジメント)技術講習会』プログラム

1. 日 時 2026 年 6 月 18 日 (木) 10:30~17:00・6 月 19 日 (金) 9:00~14:30
2. 場 所 ステーションコンファレンス万世橋
(101-0041 東京都千代田区神田須田町 1 丁目 25 番 JR 神田万世橋ビル 3F)
※JR 総武線・山手線・京浜東北線「秋葉原駅」(電気街口徒歩 4 分)、
JR 中央線・総武線「御茶ノ水駅」(聖橋口徒歩 6 分)、
JR 中央線・山手線・京浜東北線「神田駅」(北口徒歩 6 分)
3. 主 催 一般財団法人 計量計画研究所
後援: (一社) 日本モビリティ・マネジメント会議、(公社) 土木学会
協力: 国土交通省
4. プログラム ※ [] は講演予定者。内容・時間については当日変更の可能性があります。

【1 日目】

10:30 開会、講習会の内容紹介

10:40 モビリティ・マネジメント概論 (50 分) [計量計画研究所 萩原 剛]
・MM の考え方や行動変容に関する基礎知識や、自動車利用のリスク、公共交通を利用するメリット等について具体例を踏まえた紹介など

11:30 MM の実施に関わる基礎技術 (40 分)
・実施計画を策定する際における目標の立て方や手法の選び方等の基礎技術、MM 実施の際に必要なグッズ・ツールの意義と重要性、作成方法のポイント、MM 実施の際の評価のポイントなど MM の実施に関わる考え方、行動変容についての基礎知識など

基礎技術①: 計画策定に関する基礎技術 [計量計画研究所 水野 杏菜]

基礎技術②: ツール作成のポイント [計量計画研究所 谷口 賢太]

12:10 ----- (昼食 60 分) -----

13:10 基礎技術③: MM の評価 [計量計画研究所 小松崎 諒子]

13:30 行政主体による MM 事例紹介 (135 分)
・全国の自治体の MM 取組事例について、実際に実施に関わった担当者から成功のポイントや苦労した点、継続的に実施する上での課題と対応策など

事例紹介①：LRT 新設・バス路線再編を契機としたMM「Move Next Utsunomiya」の実践
[宇都宮市 都市整備部 交通政策課 海老名 謙 様]

事例紹介②：IC カードデータをエビデンスとした神戸市バス路線・ダイヤ見直しの取組
～データに

基づく改善の実践

[神戸市 交通局 児玉 健 様]

15:00 ----- (休憩 15 分) -----

事例紹介③：市内全小学校における実践を目指した札幌市 MM 教育の歩みとこれから
[札幌市 まちづくり政策局総合交通計画部 山本 健人 様]

16:00 実務における MM の推進に向けて (60 分) [京都大学大学院 藤井 聡 教授]
・ MM の実務での推進に向けたポイントなど

17:00 1 日目の総括及び意見交換 & 名刺交換
・ 登壇者や講習会参加者との意見交換

【2 日目】

9:00 MM に係るワークショップ (120 分) [進行：愛媛大学大学院 松村 暢彦 教授、IBS]
・ 学識経験者や MM 実施に携わった経験のある行政担当者とともに、具体的な課題についての討論など

WS 前半 (60 分)：「フードマイレージ」の体験を通じた実践形式での課題演習

WS 後半 (60 分)：MM を実施する際の「課題」や「悩み」・「お困りの点」に関して議論

11:00 ----- (休憩 10 分) -----

11:10 学校教育 MM に関わる基礎技術 (50 分) [愛媛大学大学院 松村 暢彦 教授]
・ 学校教育 MM の特徴と意義、期待される効果
・ 学校教育 MM フォーラムでの講演内容の紹介、学校教育 MM プログラムの事例など

12:00 ----- (昼食 60 分) -----

13:00 民間・地域・行政が連携した MM 事例紹介 (60 分)
熊本における、公共交通利用者 2 倍に向けた取組
[九州産交バス株式会社 共同経営推進室担当課長 今釜 卓哉 様]

14:00 MM 実施に関わる制度 (30 分)
[国土交通省 総合政策局 参事官 (交通産業) 室 山本 将士 様]
・ 国土交通省の制度と最近のトピックなど

14:30 閉会 以上